

伝統・文化を学ぶ ～恒例の松明づくり～

12月22日、宮島学園グラウンドで恒例の「松明づくり」が行われました。この松明は鎮火祭の時に使われます。鎮火祭は毎年大晦日の午後6時より始まる火災よけの祭りで、当日は何人かで大松明をかつぎ厳島神社周辺を練り歩きます。

「松明づくり」は宮島学園の5年生から9年生まで60名、保護者・教職員20名、宮島町商工会青年部8名、宮島地区のコミュニティの有志7名が参加して行われました。生徒たちはコミュニティ有志と保護者から指導を受け、最初に竹を30cmに切り、そしてそぎ板を巻いて縄で縛っていきます。最後に肥土を入れて完成です。この作業の中で、縄を縛っていくところが一番大変です。縛り方は男結びで、生徒たちは何度も教えてもらっていました。生徒たちは寒さも忘れ、完成するとみんな満足そうな顔をしていました。完成後は自分の名前を書いて持って帰ります。生徒がかつぎ約6メートルの大松明は、保護者と宮島町商工会青年部が中心に作ります。

このように、昔からの伝統・文化を地域の大人によって生徒たちに引き継ぎ、生徒たちも次の世代に引き継いでくれると思います。この行事は世代間交流・地域の活性化・体験学習等大きな意味があると思います。

完成すれば、あとは大晦日待つばかり。大晦日当日はハッピーを着て「ヨイヨイ」という掛け声とともに大松明をかつぎ練り歩き、平成21年の最後の夜を迎えます。



宮島地域特派員
内山 健



伝統技術の継承 ～速谷神社のしめ縄作り～

お正月を半月後にひかえた12月14日、速谷神社へ奉納するしめ縄作りが、神社境内で行われました。晴天に恵まれましたが時折強い風が吹く中での作業となりました。

上平良地区の老人クラブ「延寿会」と「静寿会」から50～60名の会員が集まり、お米を作っておられるご家庭より、今年採れたもち米のわらをもち寄って作業が始まりました。

まず、わらの「はかま」を取り、緑色の残ったきれいなものを選別し束ね、それを水で濡らし柔らかくするように木槌で打ちます。そして打ち終わったわらを、3～4人で力を合わせ振っていきます。慣れた人でないとできない匠の技です。完成したしめ縄は長いもので5メートル位あり、全部で3本を作り、旧社務所、儀式殿、本殿の前にそれぞれ取り付けられます。参加された方の中には、90歳というご高齢の方もおられ、皆さん元気だなあと感心しました。

このしめ縄作りは、古くから続けておられるようで、最初の頃は氏子の方々が行っておられ、およそ30年前から老人クラブが引き継がれたとのこと。

伝統技術の継承がいかに大変であるかを実感しました。年々人手が減少しているのに、何人でもふるって参加して欲しいと強く望んでおられます。



廿日市地域特派員
谷口 秀則



年末、大掃除で
綺麗になった家を
出来るだけ汚さない
極意とは・・・

知っとく情報～☆

「キレイ」を「キープ」
いたしましょ♡



- ◎汚したらその場でサッと拭きましょう。
◆トイレの便座、キッチンの噴きこぼれ、油はね、洗面台の鏡等々・・・
- ◎人が動いただけでたまるホコリやゴミはこまめにモップをかけましょう。
◆リビング、廊下、階段、玄関等々・・・
- ◎定期的に掃除をすると年末が楽ですよ。
◆週に1度の半乾き雑巾での拭き掃除
◆2週に1度の洗面所、トイレ、浴室のていねい掃除
◆月に1度の換気扇、冷蔵庫掃除
◆数カ月に1度のフックスがけ、照明器具、家具磨き

ていねい掃除は年末でなく、
気候のよい季節にすれば効率アップ！



*** お問い合わせ先 ***

廿日市市民活動センター

廿日市市住吉2丁目2-16

TEL 0829-32-3741

FAX 0829-32-3742

HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

ネットワーク現在の状況

(平成21年12月末日現在)

登録団体 155 団体

さくらdeファミリー

運営協議会トピックス

2010年3月14日(日)

第3回 センターまつり開催

今年度のセンターまつりに、廿日市ベンチャーズの出演が決定しました。そのほか、賑やかに楽しい催しが盛り沢山。

手打ちそばも復活しました。お誘いあわせの上、ご来場ください。(ゲームの景品として遊休品の寄付をお願いします)

フォトコンテストを行います

皆さんの市民活動で得られたとおきの笑顔を募集しています。

掲示は上記の「センターまつり」で行います。市民活動団体の方ならどなたでも参加可能です。

●写真とセンター受付にある申込専用紙に必要事項を記入して応募ください。



提出はセンター受付に専用BOXがあります。応募締切は2月末です。

写真のサイズはL版～A4までの大きさ(データでの提出はできません)

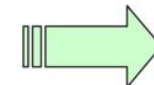
2010年1月～3月の納税期間も貸室利用が出来るようになりました

2010年からは確定申告会場が廿日市地方合同庁舎となりましたので、当センターは通常どおり利用していただけます。

無料の会議室が時間単位での予約利用開始

予約利用枠が変更になる対象の部屋

会議室(1F)
小会議室(2F)
ミーティングルーム(2F)



従来は午前・午後・夕方の3枠予約でしたが、
1時間単位で予約ができるようになりました。

センターの大掃除をしました

年に一度の大掃除が、運営協議会の構成団体と登録団体の有志により行われました。右に記しているのが参加協力団体です。毎年登録団体の方々がボランティアで窓ふきや館内全体の大掃除を行っています。今回はトイレの汚れを重点的に行いました。



[参加協力団体]

廿日市市町内会連合会
廿日市地区コミュニティ推進協議会
廿日市市公衆衛生推進協議会
廿日市市PTA連合会
青少年育成廿日市市民会議
青少年夢プラン実行委員会
廿日市市文化協会
廿日市市老人クラブ連合会
廿日市市身体障害者福祉協会
NPO法人ふくし文化塾はつかいち
廿日市市国際交流協会
はつかいちレクリエーション協会
はつかいち市民ミュージカル
廿日市市地域安全協議会
ええじゃん
廿日市市合唱団連絡会
3B体操(はつかいちレク協)
NPO法人健康創造研究所

ネットワーク団体紹介



しりあっChaO



今回は「音で集う市民活動」がテーマです。音を出す、聴く、演じる、感じる、使う・・・ジャンルは様々ですが、音に親しみ、音を楽しんでいるという点では皆さん共通しています。音楽を通して素敵なコミュニケーションを楽しんでいる、そんな方々の団体を紹介します。

興味を持ったなら、ぜひ連絡してみてください。みなさん新しい仲間を待っています。

すいしんりゅう けいりん ぎんえいかい

詩吟 水真流桂林吟詠会

「詩吟をご一緒にしませんか」と問いかけると「えーっ、あんな難しいもの」とのけそる人が多い。詩吟は字の如く詩歌を吟ずるの意で中国詩・日本漢詩・短歌・和歌・新体詩・俳句などを朗詠する総合芸術である。歌謡曲・歌曲の歌唱力、民謡の牧歌性などを合わせ持ち音程と表現力を要求される音楽性に富む高度で格調の高い文芸である。その昔、文人・官吏の必須科目であった漢詩を吟ずることから始まったので考

えてみれば難しいのは当たり前であるが、「鞭声粛々 夜河を渡る・・・」と声を張り上げ腹式呼吸で呼吸筋を鍛え肺活量を高める心身のエクササイズであるところとすれば、詩吟朗詠ほど健康に役立つものは無いと思う。そして一番大切な事は趣味を同じくする仲間・同志との深い親交である。年代を超え、生活環境を問わず「温故知新」の世界を共有する喜びと共感は何物にも代え難い生活の華である。最後に素敵な詩をご紹介します。

【連絡先 会長 加藤 090-4693-2929】



箏 正派七草会

日本の伝統楽器である箏（こと・琴）や三味線の糸は主に絹糸で作られ、そこから細ぎ出される美しい音色は、科学的にも癒し効果が高いと実証されています。

その優雅な音色に魅せられ、1958年より箏曲（そうきょく）を楽しむ代表者の元、平成元年に“宮園箏曲くらぶ”として発足、同年廿日市市文化協会加盟、平成11年より“正派七草会”と改名し今日に至っています。

「日本の伝統音楽を大切にしたい、次の世代に伝えたい！」との一心が全国小・中学生箏曲コンクール最優秀賞、はつかいちさくら賞、箏曲子供奨励会特別賞受賞、その他につながり、会員一同の励みとなっております。

今年は3月に「第二回未来に響く安芸の箏」（さくらびあにて独自のコンサート開催）、10月「はつかいち音楽祭」、11月「市民文化祭」さくらびあに出演、来春3月「葛原句当生誕200年 童謡詩人葛原しげる没後50年記念演奏会」神辺文化会館出演予定と続いています。

時代に合うよう、椅子に腰かけての演奏や経費の少ない活動などを心がけ、小学生から60代まで、独奏や合奏を楽しく学びあっています。【連絡先 河野(かわの) 0829-38-1783】



琴 つくしの子

こんにちは、つくしの子です。お琴を楽しむグループです。

何年か前から、お琴なんて見たことも聴いたこともないという声を聞くようになって、いささかなりともお琴に関わっている人間としては、淋しく思っていました。このままでは、お琴は特別な楽器になって忘れられていくのではないかと不安になり、まずお琴を知ってもらうことから始めようとメンバーが集まりました。

今は、廿日市小学校の「ふれあいクラブ」での講師が主な活動ですが、大野東児童館のクリスマス会で、演奏をした後子どもたちにお琴を触ってもらったり、アメリカからの留学生の方たちにワークショップをしたこともあります。近くおはなしよみきかせ隊ママレンジャーさんの紙芝居にBGMとして参加することになり、目下準備中です。演奏技術をはじめとして色々な点でまだまだ未熟なグループですが、お琴を身近に感じてもらえるような活動を、模索しながら続けていきたいと思っています。【連絡先 中村 0829-32-8617】



体操 健康体操 広島



「健康体操 広島」は、2009年10月1日付けにて新たなスタートをしました。元は当初から登録団体として活動していた「ケアビクス研究会」です。私たちは「ケアビクス」の普及を通し、地域の福祉に貢献する目的で発足した団体です。

ところで「ケアビクス」とは・・・『こころとからだの健康づくりを目的としたオリジナル運動です。椅子に座ったままで行えるのが特徴で「体力差」「年齢」「障害の有無」に関わらず安全に行えます。音楽に合わせて楽しく体を動かしながら、有酸素運動や筋力トレーニングができるようになっています』（「タウンルック」より）団体の名称変更をして、活動範囲も広げた今、地域の福祉分野を中心に今後も活動していきたいと思います。

【連絡先 市民活動センター内 メールボックス1-02】



合唱 廿日市市合唱団連絡会

廿日市市制施行20年記念行事の一環として、さくらびあ大ホールで合唱祭をしたらとの提案を契機に数人で廿日市市合唱団連絡会を立ち上げました。平成19年6月、廿日市市文化協会の協力のもと、廿日市市内で活動している各合唱団が集い廿日市市合唱祭を開催しました。その盛り上がりの中で、来年度以降も続けようということになり、毎年開催し参加団体も年々増えました。第4回目は24団体で平成22年5月16日に実施の運びとなっています。廿日市市文化協会をはじめ、多くの方々のご指導とご支援をいただいたこと、大変ありがたく深く感謝しております。

今年度になって、他団体との連携や活動範囲を広げるために、廿日市市市民活動センターのネットワークに加入し、3階に事務スペースを開設することになりました。そんな中、10月21日には、映画「歓喜の歌」と合唱のコラボレーションで合唱団連絡会加入団体の中から6団体がさくらびあ大ホールに出演しました。合唱団の中には福祉施設への慰問活動や市民活動センターまつり、市民センター公民館まつりへの出演などを通して、廿日市市内の合唱文化を広める活動をしています。今後はさらに、廿日市市合唱祭を中心に各種団体や学校との連携や子どもから高齢者まで年代をこえて合唱文化を広め、歌声のひびく廿日市市をめざしていきたいと思っています。みなさん、歌のハーモニーと心のハーモニーで合唱の楽しさを味わってみませんか。

【連絡先 小松 0829-37-3021】



吹奏楽 廿日市吹奏楽教室

私たち廿日市吹奏楽教室は「生涯学習としての音楽」をテーマに、現在代表である井上亨が発起人となり13年前に活動を開始した団体です。発足当初メンバーは20名足らずでしたが、現在は下は小学生から上は60歳を超える方まで自称3世代バンドとして60名近くが楽しく活動しています。

私たちは他の一般吹奏楽団とは違うシステムで運営しています。演奏をする一般合奏部門の他にレッスン部門もあり、2部門の両輪で活動しています。

レッスン部門にも40人のメンバーがおり、各パート毎に専属講師による個人レッスンを受け、月に一度はレッスン生だけの合奏練習も行い、個人レッスンとはまた違った生の演奏の醍醐味を味わう機会もあります。練習は毎週金曜日、廿日市中央市民センターと串戸市民センターを隔週で移動して行っています。

一般合奏部門の活動は、社会福祉施設くさのみ作業所まつり、所属市民センター祭り、コミュニティのお祭りでの演奏、そして、恒例になった家族同伴のバーベキュー大会などです。また、小編成によるボランティア演奏等も行い、地域での吹奏楽イベントにも積極的に参加しています。

そして年間最大のイベントとして、定期発表会を開催します。来年は5月23日（日）に第13回目を開催します。3月には市内のあちこちにポスターを掲示させていただく予定です。ぜひ見かけたら思い出していただき、ぜひ聴きにきてください。

合奏部、レッスン部とも常時入会を受け付けています。第1・3金曜日は中央、第2・4金曜日は串戸の各市民センターにまずは練習風景をぜひ一度見に来て下さい。

【連絡先 高見 090-1017-6676】

<http://www.geocities.jp/brass-kyousitsu/>



(平成20年クリスマスパーティー)